

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1		共同空間(職員、利用者の集まる場所)近くにあるトイレの誘導の際には利用者の尊厳を念頭にお置き、よりプライバシーへの配慮がある。	・今まで以上に羞恥心に配慮しプライバシーの確保に努める。	・排泄の言葉がけは1個人に対しての言葉がけとし、そばに寄り本人のみ聞こえる大きさの声で行う。 ・記録は介助を行った職員が責任をもち自ら行い、他者に頼まない。	12ヶ月
2		(家族アンケートより)戸外の行きたい所は、ときどきや殆ど出かけていないとの結果が出た。	帰宅願望者が多く、気分転換を図る為、マンツーマンでの散歩は今後も随時に続けながら、時には町への外出支援も行っていく。	・誕生日月の利用者には日頃の散歩外出支援とは別に誕生日のお祝い事としての外出支援をしていく。(買い物、ドライブ、金銭的余裕のある方はランチなど)	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。